



(題字 小黑千足 学長)

第388号
(平成9年4月号)



▲ 平成9年度富山大学入学式 円内は新生を代表して宣誓する経済学部牧野沙織さん
(平成9年4月10日富山市芸術文化ホール)

目 次

学 長 告 辞	3	職 員 消 息	
◆ 平成9年度富山大学入学式を举行		◆ 住所変更	9
関 係 法 令	5	◆ 新任者住所	10
諸 会 議	5	◆ 改 姓	13
学 事		主 要 行 事	13
◆ 学位取得者	6	資 料	
人 事 異 動	7	◆ 平成9年度富山大学入学者数一覧	16
学 内 諸 報			
◆ 次期学長候補者に時澤貢工学部教授を選出	7		
◆ 平成9年度大学院教育学研究科及び理学研究科 入学式を举行	8		
◆ 海外渡航者	8		

学 長 告 辞

学生生活へ夢いっぱい1,877名の入学

平成9年度富山大学入学式を挙

— 平成9年4月10日（木）富山市芸術文化ホール —

平成9年度富山大学入学式が、平成9年4月10日（木）午前10時30分から新装成った富山市芸術文化ホール（オーバードホール）において挙行されました。

まず、小黒学長から学部入学生1,591名、大学院入学生286名、合計1,877名（うち外国人留学生47名を含む。）の新入生に入学許可宣言があり、続いて学長から告辞がありました。

これに対して、新入生を代表して経済学部経済学科牧野沙織さんが「私たち新入生一同は、在学中学則を守り、自己の研鑽に努め、さらなる未来への展望を広げるとともに、より一層の学識を深めるよう努力いたします。」と力強く宣誓し、入学式を終了しました。

式終了後、新入生を歓迎して本学合唱団、ギター・マンドリンクラブ及びフィルハーモニー管弦楽団による合唱及び演奏があり、引き続き11時30分から教養教育及び学生部・保健管理センターのオリエンテーションが行われました。



▲ 小黒学長の告辞を聴く新入生



▲ 受付の後式場へ入る新入生

入学式学長告辞（全文）



学長 小 黒 千 足

本日富山大学に入学を許可された諸君に、全学の教職員を代表して、心からお慶びを申し上げます。特に、新しく大学に入学する学部学生は、感慨が深いものと思われます。大学を目指して努力した結果が、いま実り、諸君の夢の第一歩が始まりました。

しかし、当然のことながら、大学に入学することが諸君の最終目的ではないはずです。入学したこの時から、卒業の時までに何をしたいのか、どのような学生生活を送るべきか、また、いかにして人間的に成長するべきかを考える必要があります。

諸君が大学生として過ごすこれからの数年間、卒業

後の長い人生を決定すると云っても過言ではありません。いま、真剣に将来を考え、人生設計をするべきであります。大学に入学した目的が不明であれば、コンパスを持たない航海と同様、自らの位置が判らないまま、いたずらに時を過ごすことになります。この点に熟慮することを希望いたします。

さて、すべての人が踊ったバブルの全盛期、それを過ぎたバブル崩壊の時、それらは既に過去のものであります。しかし、それらの後遺症はいまだに社会に大きな影響を与えております。長く続いた円高が突然円安に転じました。これら突然起こる大きな変化を、誰が前もって知り得たでしょう。いま、私はいたずらに事例を上げているではありません。諸君が卒業する4年後に、諸君を取り巻く環境がどのようなものを予測するのは不可能に近いことを述べているのです。

一方、諸君には卒業の時が間違いなく参ります。その時、変化した社会にどれだけ対応できるかがその後の人生を左右します。前もって予測できない社会の変化にどう対処するかが、すべてを決定します。それに対するためには、ものごとの本質を見極める目と叡知を養うことであります。大学で学ぶのは知識もあれば技術もあります。しかし、それらを通じて本質を探り、真実を見通す目と叡知を体得することが何より必要であることを心に留めて下さい。ものごとの本質を理解できれば、おのずと対応は可能になりましょう。

就職戦線超氷河期と云われ、また、就職協定破棄によって、学生の就職に対する不安感が高まっていることは否

定できません。しかしながら、いたずらに右顧左眄しても決して良い結果はもたらされません。良い就職は、何を身につけたかによって決まります。これからの数年間は腰を落ち着け、先ほど申したことを基本に、努力されることを期待いたします。

さて、大学の教育は、高度の学問・研究に裏付けられたもので、諸君が今まで受けた教育とは、本質的に異なります。それぞれの教師は、独自の研究、情報あるいは信念にしたがって講義を行い、実験を指導します。小学校、中学校あるいは高等学校のように検定を受けた画一的教科書などは一切用いません。たとえ、講義の名称が同じでも、全国に一つとして同じ内容のものはありません。このことは非常に重要な意味をもっていることを、心に刻んで教室に臨むことが必要です。

また、先にもふれたように、大学において知識や技術を習得することは当然ですが、何にもまして人格を養うことが大切です。人格無き知識や技術は、百害あっても一利もありません。大学生生活を通じて、人格の涵養を心がけることを切に希望いたします。

なお、大学院修士課程あるいは博士課程に進学した諸君は、以上述べたことは既に体得していることと信じます。今後さらに、高次の知識と技術の習得に努め、人間としての完成のため、さらに努力されることを期待いたします。

以上大学入学に当たっての心構えを述べ、告辞を終わります。

関 係 法 令

(法 律)

- 教育公務員特例法の一部を改正する法律(31)
(平9. 4. 9 官報第2113号)

(規 則)

- 人事院規則9-1(非常勤職員の給与)の一部を改正する人事院規則(人事院9-1-14)
(平9. 4. 1 官報第2107号)
- 人事院規則10-4(職員の保健及び安全保持)の一

部を改正する人事院規則(人事院10-4-6)
(同上)

- 人事院規則16-0(職員の災害補償)の一部を改正する人事院規則(人事院16-0-20)
(同上)
- 人事院規則9-8(初任給,昇格,昇給等の基準)の一部を改正する人事院規則(人事院9-8-32)
(平9. 4. 23 官報第2123号)

諸 会 議

第5回学長候補者選挙管理委員会(4月15日)

(議 題)

- (1) 第4回委員会記録の確認について
- (2) 本選挙不在者投票状況について
- (3) 本選挙の実施について
- (4) その他

第1回評議会(4月15日)

(審議事項)

- (1) 次期学長候補者について
- (2) その他

第1回部局長懇談会(4月18日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第1回大学院委員会(4月18日)

(審議事項)

- (1) 学生の除籍について
- (2) その他

第2回評議会(4月18日)

(審議事項)

- (1) 富山大学名誉教授称号授与について

- (2) 学生の除籍について
- (3) その他

第1回日本海経済研究センター(仮称)設置準備委員会(4月18日)

(議 題)

- (1) 委員長の選出について
- (2) 委員会設置等の経緯について
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) その他

第1回放射性同位元素総合実験室運営委員会(4月22日)

(議 題)

- (1) 平成8年度運営費決算(案)及び平成9年度運営費予算(案)について
- (2) 放射線防護設備について
- (3) 平成9年度放射性同位元素等の使用申請(案)について
- (4) その他

第1回生涯学習教育研究センター運営委員会(4月22日)

(議 題)

- (1) 平成9年度事業計画について
- (2) その他

第1回体育施設委員会（4月22日）

（議 題）

- (1) 平成9年度体育施設運営経費について
- (2) 平成10年度概算要求事項等について
- (3) 体育施設の総合的整備について
- (4) その他

第1回附属図書館商議会

（審議事項）

- (1) 平成9年度附属図書館運営費について

第1回低温液化室運営委員会（4月24日）

（議 題）

- (1) 平成8年度低温液化室運営費決算（案）について
- (2) 平成9年度低温液化室運営費予算（案）について
- (3) その他

第1回総合情報処理センター運営委員会（4月25日）

（審議事項）

- (1) 生活協同組合のキャンパス情報ネットワークへの接続について
- (2) 共通経費の要求について
- (3) ネットワーク利用負担金について
- (4) その他

第1回授業料等減免選考委員会（4月28日）

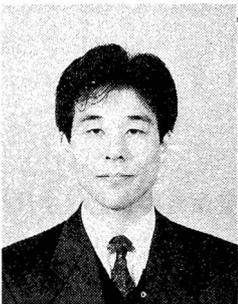
（議 題）

- (1) 富山大学入学料免除者選考基準について
- (2) 富山大学授業料免除者選考基準について
- (3) 平成9年度大学院入学生の入学料免除者の選考について
- (4) 平成9年度学部入学生の入学料免除者の選考について
- (5) その他

学

事

学 位 取 得 者



学位取得者

工学部 助手 松田 健二

学位の種類

博士（工学）（東京工業大学）

取得年月日

平成9年3月31日

学位論文名

高分解能透過型電子顕微鏡によるAl-Mg₂Si系合金における中間相の時効析出に関する研究

論文の要旨

Al-Mg-Si系合金は、アルミサッシなどの建築用部材として使用されてきたが、近年、自動車、鉄道車両等の車体材料として注目され、鉄鋼材料に匹敵する強度が求められている。しかし本合金の構成元素は原子番号が隣接しており、本合金の強度を支配する時効析出物の構造は従来のX線回折等の手法ではわからなかった。本論文では、本合金の時効析出物であるナノオーダーの中間相の結晶構造を、高分解能透過型電子顕微鏡観察、マイクロビーム電子回折及びエネルギー分散型X線分光分析法を用いて調べ定義した。さらに、中間相と母相との結晶学的方位関係も明らかにするとともに、従来推測に過ぎなかった本系合金の時効析出過程を、初めて材料組織学的に解明した。特に強度の増加に有望で、実用的に最も重要である過剰シリコン型のAl-Mg-Si合金においては、これまでまったく見いだされていなかった、結晶構造の異なる複数の中間相が形成される析出現象を発見し、機械的性質の改善方法を提案した。

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	9. 4. 7	五十嵐清平		臨時用務員（経理部経理課作業員）
	9. 4. 14	近藤 俊彦		事務補佐員（附属図書館情報サービス課）
	〃	尾下 成敏		〃（ 〃 ）
	〃	室谷 智		技術補佐員（総合情報処理センター）
	〃	杉本 圭優		〃（ 〃 ）
	〃	知念 賢司		〃（ 〃 ）
	〃	吉田 博一		〃（ 〃 ）
	〃	神田 明典		〃（ 〃 ）
	9. 4. 28	山本 千夏		事務補佐員（人文学部・理学部）
昇 任	9. 5. 1	金森 寛	助教授（理学部）	教 授（理学部）
併 任	9. 4. 2	宮下 尚	教 授（工学部）	工学部長・評議員（～11. 4. 1）
	〃	宮下 尚	教 授（工学部）	評議員の併任を解除する
	〃	山淵 龍夫	教 授（工学部）	評議員（～9. 5. 31）

学 内 諸 報

次期学長候補者に時澤貢工学部教授を選出



小黑千足学長の任期が平成9年6月12日に満了することに伴い、次期学長候補者の選考が行われました。

学長候補適任者として次の4名が推薦され、平成9年3月19日に予備選挙を行い、4月15日に本選挙を行った結果、時澤 貢工学部教授が学長候補当選者となり、同日開催の評議会において次期学長候補者に決定しました。任期は、富山大学学長選考規則に基づき平成9年6月13日から4年間

瀧 澤 弘（富山大学教育学部教授）

時 澤 貢（富山大学工学部教授）

中 川 眸（富山大学教育学部教授）

吉 原 節 夫（富山大学経済学部教授）

時澤教授は、昭和31年3月富山大学工学部金属工学科を卒業、昭和33年3月大阪大学大学院工学研究科を修了後、同年4月株式会社不二越勤務、同社鋳造部生産技術課長を経て、昭和40年3月富山大学工学部助手、同41年4月同講師、同44年4月同助教授、同52年10月から同教授となり、現在に至っています。この間、昭和58年7月から同60年9月まで附属図書館工学部分館長、平成元年6月から同5年4月まで評議員、平成5年4月から同9年4月まで工学部長を歴任されました。

専門は、塑性加工学、工学博士（大阪大学）。

平成9年度富山大学大学院教育学研究科及び理学研究科入学式を挙行

本年度に設置された大学院教育学研究科（修士課程）教科教育専攻音楽専修及び理学研究科（修士課程）生物圏環境科学専攻の入学式が、去る4月18日（金）午前9時30分から黒田講堂会議室において挙行されました。

初めに小黑学長から、新入生12名（教育学研究科3名、理学研究科9名）に入学許可宣言があり、続いて告辞がありました。

これに対して、新入生を代表して、教育学研究科居島仁美さん、理学研究科西尾晴由さんが「私たち新入生一同は、在学中学則を遵守し、専門にかかわる高度の能力及びその基礎となる豊かな学識を養うよう努めることを誓います。」と力強く宣誓し、式を終了しました。



▲ 告辞を述べる小黑学長



▲ 告辞を聴く新入生

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	工学部	助教授	神原 貴樹	大韓民国 アメリカ合衆国	第22回韓国高分子学会年会及び第213回アメリカ化学会年会に出席、研究発表及び研究打合せ	9.4.10 ┆ 9.4.20
	経済学部	教授	菊田 健作	連 合 王 国	ゲーム理論とその応用に関する研究	9.4.14 ┆ 9.11.15
		学 長	小 黒 千 足	イ ン ド	高等教育機関の現状調査	9.4.20 ┆ 9.4.28
	事務局	経 理 長 部 長	斎 藤 敏	イ ン ド	高等教育機関の現状調査	9.4.20 ┆ 9.4.28
海外研修	人文学部	講 師	長 井 由 里	インドネシア	寺院、儀式、仏教遺跡等の調査	9.4.2 ┆ 9.4.9

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修	経済学部	講師	青木 亮	台湾	台湾の鉄道に関する調査及び資料の収集	9.4.5) 9.4.13
	教育学部	助教授	深見 友紀子	アメリカ合衆国	NewYork Washington Square United Methodist Church における展示と演奏に参加, 研究資料の収集及び研究打合せ	9.4.9) 9.4.14
	人文学部	助教授	赤尾 千波	連 合 王 国	アフリカン・アメリカン研究国際カンファレンスに出席及び資料収集	9.4.20) 9.4.29
	工学部	教授	熊沢 英博	大 韓 民 国	韓国化学工学会春季学会に出席, 特別講演及び共同研究の打合せ等	9.4.23) 9.4.30
	人文学部	助教授	岩井 瑞枝	フ ラ ン ス ア メ リ カ 合 衆 国	インクナブラ関係資料の閲覧及び収集	9.4.24) 9.5.8
	経済学部	助教授	酒井 富夫	中 華 人 民 共 和 国	「日本の農業, 農民, 農村一戦後日本農業の発展と課題」第7回国際シンポジウムに出席及び研究打合せ等	9.4.28) 9.5.6

職 員 消 息

〈住所変更〉

部局名	官職	氏名
庶務部	文部事務官	宮原 進
人文学部	助教授	佐藤 朋之
〃	外国人教師	ロゴーズナヤ ・ニーナ
教育学部	教授	山地 啓司
〃	教授	山瀬 晋吾
〃	教授	宮崎 州弘
〃	教授	黒柳 晴夫
〃	教諭 (附属中学校)	城石 和良

部 局 名	官 職	氏 名
教 育 学 部	文部事務官	岡 元 祐里子
経 済 学 部	助 教 授	清 家 彰 敏
〃	講 師	古 賀 さゆり
〃	講 師	小 野 理 恵
〃	助 手	坂 本 江 見
理 学 部	教 授	清 棲 保 弘
〃	助 教 授	小田島 仁 司
〃	助 手	和 田 直 也
工 学 部	文部技官	黒 田 靖 子

〈新任者住所〉

部 局 名	官 職	氏 名
庶 務 部	人事課長	青 木 正 克
〃	文部事務官 (人事課課長補佐)	前 田 邦 樹
〃	文部事務官 (庶務課学事調査係)	橋 千 夏
経 理 部	経 理 課 長	海老根 裕
〃	文部事務官 (管財係長)	大聖寺 一 孝
〃	文部事務官 (用度係長)	新 出 信 幸
〃	文部事務官 (経理課出納係)	尾 崎 美 幸
〃	文部事務官 (経理課用度係)	高 崎 淳 也
施 設 課	施 設 課 長	芋 野 昭 作
〃	文 部 技 官 (電気係第二主任)	林 英 則

部 局 名	官 職	氏 名
学 生 部	厚生課長	畑 田 健 二
〃	入 試 課 長	赤 松 一 良
〃	文部事務官 (厚生課主任専門職員)	横 山 正 弘
〃	文部事務官 (学生係長)	本 吉 友 治
〃	文部事務官 (学生課総務係)	竹 島 勢 都 子
人 文 学 部	助 教 授 (歴史文化)	徳 永 洋 介
〃	助 教 授 (文化環境論)	佐々木 重 洋
〃	助 教 授 (ヨーロッパ言語文化)	中 島 淑 恵
〃	講 師 (日本東洋言語文化)	大 野 圭 介
〃	外国人教師	朱 継 征
教 育 学 部	教 授 (社会科教育)	佐 藤 幸 男
〃	教 授 (英語教育)	高 瀬 彰 典
〃	助 教 授 (学校教育)	小 林 真
〃	文部事務官 (事務長補佐)	近 岡 忠 夫
〃	文部事務官 (会計係長)	塚 田 健 夫
〃	文部事務官 (学務係長)	川 上 重 信
〃	臨時用務員 (作業員)	中 西 義 夫
〃	副 校 長 (附属小学校)	水 上 義 行
〃	教 諭 (附属中学校)	堀 田 充
〃	養 護 教 諭 (〃)	嶋 崎 未 和 子
〃	教 諭 (附属養護学校)	高 野 久 子

部 局 名	官 職	氏 名
教 育 学 部	教 諭 (附属養護学校)	澤 田 剛
〃	教 諭 (〃)	豎 月 浩
〃	教 諭 (〃)	浦 上 静 香
〃	教 諭 (附属幼稚園)	四 宮 卓 子
〃	附属学校第二係長 (附属学校事務室)	石 坂 淳 子
〃	臨時用務員 (附属学校事務室)	館 野 洋 子
経 済 学 部	講 師 (理論経済学)	若 林 丈 晴
〃	講 師 (応用経営)	森 田 知 香 子
〃	助 手 (応用経営)	森 口 毅 彦
〃	文部事務官 (教務係長)	山 田 知 訓
〃	文部事務官 (会計係用度主任)	亀 谷 仁 一
理 学 部	助 教 授 (地球ダイナミクス)	塩 原 肇
〃	助 手 (情報数理)	幸 山 直 人
工 学 部	教 授 (プロセス工学)	熊 澤 英 博
〃	助 教 授 (通信制御工学)	佐 藤 雅 弘
〃	助 手 (材料工学)	古 井 光 明
〃	文部事務官 (庶務主任)	絹 石 達 也
〃	文部技官 (通信制御工学)	本 田 和 博
〃	事務補佐員 (学務係)	江 川 秀 子
〃	事務補佐員 (設計生産工学)	堀 愛 里
〃	事務補佐員 (電子物性デバイス工学)	嶋 由 香 里

部 局 名	官 職	氏 名
工 学 部	事務補佐員 (電子物性デバイス工学)	竹 内 美 貴
附 属 図 書 館	事 務 部 長	竹 若 重 勝
〃	情報管理課長	岩 淵 恭 幸
地域共同研究センター	事務補佐員	北 風 和 子

〈改 姓〉

部 局 名	官 職	氏 名	旧 姓
人 文 学 部	講 師	葉 柳 靖 子	中 村
人文学部・理学部	文部事務官	伏 喜 希代子	市 橋

主 要 行 事

本 部

- 4月10日 入学式（富山市芸術文化ホール）
 教養教育オリエンテーション
 学生部・保健管理センターオリエンテーション
- 10～11日 平成9年度国立学校施設実態調査説明会（東京医科歯科大学）
- 10～14日 学長候補者本選挙不在者投票
 15日 学長候補者本選挙
 16日 就職に関する講演会（黒田講堂）
 17日 富山県大学学生部懇談会
 22日 第1回体育施設運営協議会
 23日 公務員採用試験に関する説明会（黒田講堂）
 24日 第1回教養教育委員会企画専門委員会
- 24～25日 第83回東海・北陸地区国立学校等会計部課長会議（金沢大学）
- 25日 第1回教養教育委員会管理運営専門委員会
 「大学評価」に関する説明会（如水会館）
- 26日 北陸地区国立大学体育大会運営委員会（福井大学）

人 文 学 部

- 4月7日 学部教務委員会
 学部学生生活委員会
- 9日 予算委員会
 教授会
 教授会（人事）
 大学院人文科学研究科委員会
- 10日 大学院人文科学研究科新入学生オリエンテーション
- 11日 「人文学部のしおり」編集委員会
- 14日 学部新入生オリエンテーション
 学部図書委員会
 学部情報処理委員会
- 15日 前学期授業開始
- 16日 学部教育実習委員会
 新入生健康診断
- 22日 学部入学者選抜方法検討委員会
 学部国際交流委員会
- 23日 教授会

大学院人文科学研究科委員会
独立大学院研究科（博士課程）設置検討委員会
30日 学部教務委員会
予算委員会
学部国際交流委員会

教 育 学 部

4月2日～4日

教育学研究科教科教育専攻（音楽教育専修）
入学願書受付
3日 附属小学校第1学期始業式
4日 附属小学校入学式
7日 附属中学校及び附属養護学校第1学期始業式
8日 学部学生生活委員会
附属中学校及び附属養護学校入学式
9日 学部教務委員会
教授会
人事教授会
教育学研究科教科教育専攻（音楽教育専修）
学力検査
附属幼稚園始業式
11日 教育学研究科教科教育専攻（音楽教育専修）
合格発表
教育学研究科委員会小委員会
教育学研究科委員会
附属幼稚園入園式
14日 新入生健康診断
15日 前学期授業開始
16日 学部入学試験委員会
18日 教育学研究科教科教育専攻（音楽教育専修）
入学式
18～19日 平成9年度教育学部新入生合宿研修（富山県
砺波青少年の家）
21日 教育学研究科前学期授業開始
23日 学生定期健康診断
学部学生生活委員会
学部教務委員会
教授会

経 済 学 部

4月7日 学部教務委員会

学部入学方法検討委員会
9日 人事教授会
大学院経済学研究科委員会
教授会
各種委員選考委員会
14日 広報委員会
新入生オリエンテーション
新入生健康診断
15日 前学期授業開始
21日 学部入学方法検討委員会
23日 学部入学方法検討委員会
学部教務委員会
人事教授会
教授会

理 学 部

4月4日 学科長会議
7日 学部学生生活委員会
理学部案内編纂委員会
ガラス工作室運営委員会
学部図書委員会
学部入試改善委員会
8日 年史編纂理学部委員会
10日 大学院理学研究科委員会
教授会
人事教授会
大学院理学研究科委員会専任教授会
11日 学部学生生活委員会と構内交通対策委員会委員、
交通指導員の合同会議
学部就職指導委員会
学部教育実習委員会
学部動物実験委員会（持ち回り）
14日 学部新入生オリエンテーション
15日 前学期授業開始
16日 新入生健康診断
18日 大学院理学研究科生物圏環境科学専攻入学式
学部情報化対策委員会
自然科学研究科設置準備委員会（仮称）理学部会
21日 理学部案内編纂委員会
自然科学研究科設置準備委員会（仮称）
23日 予算委員会
学部入試改善委員会

- 学部教務委員会
 24日 学部学生生活委員会と構内交通対策委員会委員、交通指導員の合同会議
 30日 大学院理学研究科委員会教務検討小委員会

工	学	部
---	---	---

- 4月5日 教授会（臨時）
 7日 学生生活委員会
 教務委員会
 9日 教授会
 専任教授会
 研究科委員会
 博士後期課程委員会
 学部運営委員会
 14日 新入生学部オリエンテーション
 15日 授業開始
 21日 自然科学研究科設置準備委員会（仮称）
 22日 教務委員会
 入学試験検討委員会
 23日 教授会
 研究科委員会
 博士後期課程委員会
 学部運営委員会
 25日 日本材料学会北陸信越支部平成9年度支部総会及び講演会（富山大学工学部）
 28日 学生生活委員会
 30日 北陸信越工学教育協会富山県支部理事会（富

山大学工学部）
 学生定期健康診断

附	属	図	書	館
---	---	---	---	---

4月24～25日

第48回北信越地区国立大学附属図書館協議会
 （富山医薬科大学）

地	域	共	同	研	究	セ	ン	タ	ー
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4月8日 地域共同研究センター運営委員会

総	合	情	報	処	理	セ	ン	タ	ー
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 4月4日 第1回広報研修専門委員会
 17日 第1回システム運用専門委員会
 22日 第1回企画運営専門委員会
 30日 インターネット利用に関する講習会

保	健	管	理	セ	ン	タ	ー
---	---	---	---	---	---	---	---

- 4月16日 学生定期健康診断（新入生）
 21日 学生定期健康診断（X線間接撮影）
 22日 学生定期健康診断（X線間接撮影）
 23日 学生定期健康診断（教育学部）
 30日 学生定期健康診断（工学部）

資

料

平成9年度富山大学入学者数一覽

(学部)

学部	学科(課程)	入学者数	
人文学部	人文学科	82(1)	
	国際文化学科	56(1)	
	言語文化学科	87	
	計	225(2)	
教育学部	学校教育教員養成課程	160	
	総合教育課程	40	
	計	200	
経済学部	昼間主 コース	経済学科	164(3)
		経営学科	126(3)
		経営法学科	105(1)
		小計	395(7)
	夜間主 コース	経済学科	21
		経営学科	21
		経営法学科	20
		小計	62
	計	457(7)	
	理学部	数学科	53
物理学科		42	
化学科		40	
生物学科		38	
地球科学科		40	
生物圏環境科学科		30	
計		243	
工学部	電気電子システム工学科	94(1)	
	知能情報工学科	93(4)	
	機械知能システム工学科	108(1)	
	物質生命システム工学科	171	
	計	466(6)	
合計	1,591(15)		

(大学院)

研究科	専攻	入学者数
人文科学研究科 (修士課程)	文化構造研究専攻	10(1)
	地域文化研究専攻	10(2)
	計	20(3)
教育学研究科 (修士課程)	学校教育専攻	9
	教科教育専攻	27
	計	36
経済学研究科 (修士課程)	地域・経済政策専攻	4(1)
	企業経営専攻	10(5)
	計	14(6)
理学研究科 (修士課程)	数学専攻	10(1)
	物理学専攻	17(3)
	化学専攻	15
	生物学専攻	10
	地球科学専攻	6
	生物圏環境科学専攻	9
計	67(4)	
工学研究科 (博士前期課程)	電子情報工学専攻	60(9)
	機械システム工学専攻	37(2)
	物質工学専攻	33(1)
	化学生物工学専攻	16
	小計	146(12)
工学研究科 (博士後期課程)	システム生産工学専攻	6(2)
	物質生産工学専攻	9(5)
	小計	15(7)
計	161(19)	
合計	計	298(32)

合計 1,889名

(注) 表中の()は、外国人留学生で内数である。

編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけほの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話(24)1755(代)